

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：鈴木弘康 幹事：松村耕平 発行：会報・広報委員会

第 3420 例会 (28号) 2026 年 5 月 14 日 (木) 晴れ

外部卓話 SPEECH



いわき市遺族連合会

会長 清水良祐さん

皆さん、こんにちは。私はいわき平中央RCの会員でありまして、平RCは私たちのクラブの「親クラブ」です。大変緊張しておりますが、よろしくお話をしたいと思います。

私が子供の頃、自分の父親が戦争で亡くなり、いわき市遺族連合会の会長という立場です。戦後80年を過ぎて、戦争が風化されていくのを止めようではないかということで、「平和の語り部」という事業を展開しております。

平和の語り部、二度と戦争をしないということです。戦争の悲惨さ、平和の尊さ、二度と戦争をしないよう、させないよう、戦没者遺族自らの体験と思いを、お話をいたします。

自己紹介です。昭和18年3月26日生まれで、83歳になってしまいました。会社は株式会社清水屋ということで古紙リサイクル業をしております。父親は、清水 清一（きよかず）と申します。大正11年8月11日に田村郡のほうで生まれました。現在は郡山市のほうになっておりますが。昭和17年12月1日に陸軍二等兵ということで、会津若松の連隊に入りました。昭和18年1月9日、若松29連隊。その後、13師団65連隊第9中隊に編入されて、中国北部の沙市というところの警備にあっていたということです。

昭和18年10月18日に「常德殲滅作戦」というのに参加しました。同年11月24日に、中国中部に行き戦死しております。21歳でした。ですから、私は父親の顔はまったくわかりません。生まれたときは父親はもう戦地に行っていたということです。母親は再婚しましたので、私はひとり、祖父と祖母に育てられました。

アメリカ軍が広島、長崎に原子爆弾を投下して、戦争が終わりました。終戦になって、食べ物がありませんでした。主食はイモやカボチャ。甘いものはありませんでした。戦後の不衛生な生活のため、子供たちの体にはノミやシラミがつき、消毒のためアメリカ製の猛毒の「DDT」という薬品を頭から全身にかけられました。わが町にも進駐軍（しんちゅうぐん）が来ました。子供たちは進駐軍の車を追いかけ、チョコレートやお菓子などをもらいました。

その当時の娯楽は、ラジオ、映画、紙芝居などで、小学校の運動会は地域の最大の楽しみ。家族がご馳走を作り、応援に来て、昼休みになるとそれぞれの家族がご馳走を囲んで、楽しく過ごしていました。

私は両親がいなかったで、いつも一人で弁当を寂しく食べていました。学校の下校時に雨が降っていると、同級生はお母さんが傘を持って迎えに来ていましたが、私には迎えに来る人がいなかったので、雨に濡れて帰っていました。

父親の遺骨を迎えたい、しかし中国は日本人戦没者の遺骨収集は認めてはおりません。それでは、せめて父親の戦友だった人の遺骨を収集すれば、父親の供養になると考え、昭和51年、1976年に会津若松29連隊の諸兵が戦った、ソロモン群島ガダルカナル島に行き、戦没者の遺骨収集に初めて参加をしました。遺骨収集事業に参加するたびに、少しずつ覚えるようになってきました。それは、故郷で家族とともに静かに暮らしていたのに、突然、赤紙1枚で呼び出され、戦争に放り込まれ、戦死しても遺骨は果てしない戦場で野ざらしの状態のままです。

故郷の家族は戦場に行った肉親の帰りを待っているのに、戦死ならば

せめて遺骨だけでも戻してください。この思いは叶わず、いまだたくさんのご遺骨が、海外の戦場に残されたままになっております。それなら、微力ながら私ができるだけ遺骨収集事業に参加して、一柱（ひとはしら）でも多くのご遺骨を故郷に戻したいと思いました。

私が現在まで遺骨収集事業に参加した実績は次の通りです。ソロモン群島ガダルカナル島、サイパン島が3回、硫黄島が10数回、ペリリュー島、ロシア2回、沖縄6回、インドネシアビアク島、北マリアナ諸島のテニアン島、これは20数回行っておまして、現在もここを継続中でありまして。昭和51年、ガダルカナル島に行ってから、もう50年が経ちました。もう少し頑張らなきゃなと思います。

現在、私が派遣されている遺骨収集現場を紹介いたします。北マリアナ諸島テニアン島です。サイパン島の南5キロにあります。簡単にこの島の歴史を紹介いたします。大正時代に日本は国際連盟から、北マリアナ諸島を含む南洋諸島の統治を委任されました。

「南洋興発株式会社」というのがありました。社長は会津若松出身の松江春次でした。松江春次はサイパン島、テニアン島にサトウキビを植え、砂糖生産の工場を建て、日本から移民を募りました。その当時、貧しかった日本から南の島に夢を求めて多くの人々が渡っていきました。福島県からも多くの人々が渡っていきました。サイパン島、テニアン島は世界でも有数の砂糖生産国となり、松江春次は「砂糖王（シュガーキング）」と呼ばれるようになります。

島に渡った人々は経済的に豊かになり、南洋の「夢の島」が実現しました。しかしその夢の島に、戦争という悪魔が静かに忍び寄っていきました。

昭和19年6月15日、サイパン島に米軍が上陸いたしました。そして7月7日にサイパン島が玉砕いたしました。そして7月24日、とうとうテニアン島にも米軍が上陸しました。激しい戦いの末、昭和19年8月3日、テニアン島も玉砕いたしました。

米軍は島の北端にあった日本軍の飛行場を拡張し、長い滑走路を4本も持つ東洋一の飛行場を作りました。この飛行場から、昭和20年8月6日と8月9日に、原子爆弾を抱いたB-29が飛び立ち、広島、長崎に原子爆弾を落としました。人類に対する大犯罪です。私たちはこの島を決して忘れることはできません。

テニアン島は1万5500名の戦没者があります。将兵が8千名。内訳が陸軍が50連隊、これ長野県の人たちですが4千名。それから海軍の人たちが4千名亡くなって、合わせて8千名。で、民間人の方が、子供たち、女性もみんな含んで7500名ぐらい亡くなったであろう。合わせて1万5500名。で、現在、約3千ぐらいはまだ残ってるかなという状況です。

テニアン島における私の遺骨収集活動ですが、平成29年、遺骨収集のためテニアン島に初めて渡りました。テニアン島は米軍が北の北西側の海岸から上陸して南へと攻め込んできました。そして戦線は南へ南へと南下し、島にいた1万5千名の民間人も含めて、南へと移動しました。島の南には「カロリナス台地」があり、ここには逃げ込むのに都合のよい自然の洞窟がたくさんありました。この辺一帯に民間人、それから兵隊さんも一緒に、洞窟に逃げ込んだわけでありまして。

私たちは当初、このカロリナス台地の洞窟を主に探索して遺骨を収集しておりました。洞窟は大小さまざまで、人の体はようやく入る細いトンネルを6メートルも這っていくと、真っ暗な空間が突然広がり、高さ8メートル、奥行き20メートルぐらいの空間に、一面に遺骨があつたり。小さな洞窟は一家族が隠れるぐらいの広さに、夫婦と子供1人の遺骨があり、遺骨の様子から父親が女房、子供を手につけて、自分も自ら命を絶つたような様子が伺えました。逃げ込んだ洞窟の遺骨は、砲弾の破片とともに砕けた遺骨が収集され、火炎放射器で焼かれた真っ黒く焦げた遺骨が見つかりました。まあ、まだまだ遺骨はたくさん残っております。

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

こんな形でまだまだ戦後80年過ぎておりますが、戦後処理はできておりません。まだまだ残されたご遺骨はたくさんありますので、私も

きる限り体に気をつけて、これからも頑張ってお迎えに行きたいなというふうに思います。

司会：松村耕平幹事

〔点鐘・ロータリーソング（我らの生業）・ロータリーの目的（阿部弘行会員）・四つのテスト（関口武司会員）〕



阿部 弘行会員



関口 武司会員

★結婚祝



鈴木 東雄さん
(5月2日)

坂本 佳友さん
(5月17日)

松村 耕三さん
(5月18日)

◆会長挨拶



あらためまして、こんにちは。本日も第28回例会にご参加いただきありがとうございます。ゴールデンウィーク明けで3週間ぶりの例会になりました。

休みすぎでちょっと感覚が鈍っている感じがしますが、ご了承いただきたいと思っております。

連休前になりますが、4月25日にいわき分区の行事として、ボウリング大会が開催されまして、スポーツ平店（昔は平ボウルと言っていたと記憶しております）にて全クラブ合計で25名が参加しました。

当クラブからは、私と幹事の他、ワシントンの村上さん、福島民報の渡部さんの4名で参加してまいりました。

学生時代にはよく友達と行っていた記憶はありますが、約30年ぶりに足を踏み入れました。当時とほぼ変わっていませんでしたので、懐かしさを感じましたが、ボウリング自体も20年以上やっていないと記憶しておりましたので、本当に久々のボウリングでした。

それも3ゲームもやったものですから、次の日には、右腕が筋肉痛、さらには足にも力が入っていたのか、股関節も痛めまして、一週間ほど調子が悪い状態が続きました。

ただ、ストライクなんか出しますとハイタッチなんかしまして、学生時代に戻った感じがありまして意外と盛り上がりまして、本当に楽しい時間を過ごすことができました。

その後の懇親会にも4人で参加して参りましたが、途中カラオケ大会になりまして、村上さんと渡部さんが熱唱しておられて、こちらも大盛り上がりでして、大変充実した時間を過ごせたと感じております。

来週末には、いわき分区のゴルフコンペが開催されます。私は郡山RCの90周年の式典に参加してまいりますので出席できませんが、地区の交流も含め楽しい時間を過ごしていただければと思います。

前回の会長あいさつで、ツツジとサルズベリの花の話をさせていただきましたが、いまちょうどツツジが見ごろの時期かと思っております。車で走っていますと、道路際に綺麗に咲いております。花も大きいのでサツキではなく、ツツジだと思われそうですが、公園などでは見かけますが平の街中であまり見かけないのはすこし寂しい感じがします。

先日中央台鹿島にある顧問先に行く用事がありましたが、いまスマートリントウいわき中央台ということで建設が始まっているあたりには、道路両側にツツジが綺麗に咲いていましたが、よく見ますと同じ間

隔でサルズベリの花が植えてありました。

その後、よく調べてみましたら、サルズベリの花の原産地は中国のようです。漢字で書きますと百日紅（ひゃくじつこう）と書きます。その名のとおり100日以上赤い花が咲き続けることからこの名前がついています。

「サルズベリ」という名前も「樹皮が滑々しているの、猿でも滑る」という意味から名付けられたようですので、受験生などからするとあまり縁起のいい名前ではないですが、「サル（去る）」「スベリ（滑り）」転じて「スベリがサル」で「滑らない」という意味にもとれるかと勝手に思っております。

すでに暑い日が続いております。これからますます暑い日が続きます。花を見ながら少し暑さが紛れればと思っております。いわき公園などに行った際には、ぜひ皆さんも見てみてください。

◆幹事報告

- ・ロータリーレートは1ドル160円となっています。
- ・いわき平東RC、小名浜RCより会報が届きました。
- ・いわき平中央RC、小名浜RCより5月プログラム予定表が届きました。
- ・郡山RCより会報が届きました。

◆委員会報告・会員報告

◆S.A.A（三瓶和秀会場監督）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
5月14日	46名	27名	—

◆ロータリー財団委員会（鈴木東雄副委員長）

関口武司さん、渡邊有さん、森雄治さん、伊藤浩一さん、ソータイさん。
以上5件

◆米山記念奨学会委員会（代理：鈴木東雄ロータリー財団副委員長）

ソータイさん、伊藤浩一さん、森雄治さん、渡邊有さん、関口武司さん。
以上5件

◆スマイルボックス委員会（佐野哲朗スマイルボックス委員長）

♥清水良祐さん（本日、よろしくお祈りします）♥飯野光世さん（清水良祐様卓話楽しみにしています）♥郡二三子さん（清水さん卓話有難うございます）♥佐野哲朗さん（清水さん卓話よろしくお祈りします）♥鈴木東雄さん（結婚55年になります。シンボウ・シンボウ）♥関口武司さん（清水良祐様卓話宜しくお祈りします）♥渡邊有さん（福島県いわき市遺族連合会会長、清水良祐様卓話宜しくお祈り致します）♥出島規弘さん（清水様、本日卓話よろしくお祈りいたします）♥鈴木弘康さん（清水様本日卓話宜しくお祈り致します）♥鈴木雄大さん（清水様卓話よろしくお祈りいたします）♥伊藤浩一さん（講師の清水さんお世話になります）♥遠山良浩さん（清水さん卓話よろしくお祈りいたします）♥渡辺直之さん
以上13名

★本日の例会案内 5月21日（木）12：30～

青少年奉仕委員会担当卓話
高崎友延さん（ボーイスカウト福島連盟副連盟長）
お食事メニュー＝鶏モモ肉の又焼

★次回の例会案内 5月28日（木）12：30～

会員卓話
高橋靖夫さん（トヨタカローラいわき代表取締役社長）
お食事メニュー＝サーモンとモッツァレラのグラチネ